

開発途上国のための研修、協力事業、専門家派遣の実績

1. 研修

国際協力機構（JICA）では平成9年度から、開発途上国の国内本部機構の機能強化や、途上国のジェンダー平等及び女性の地位向上に貢献することを目指した人材育成を目的として、「男女共同参画セミナー」を実施。

最近の実績：平成18年度 10カ国 10名
平成19年度 7カ国 8名
平成20年度 5カ国 6名

2. 協力事業

開発途上国における国内本部機構の体制整備支援を含む協力事業を、カンボジア、アフガニスタン、モーリタニア、ナイジェリア、ネパールで実施。

また、開発途上国における国内本部機構及び主要省庁の組織的能力向上のため、ジェンダー情報・統計分野の専門家を派遣する等の協力を実施。

最近の実績：「ジェンダー政策立案・制度強化支援計画プロジェクト」
(カンボジア・15～20年度)
「女性の貧困削減プロジェクト」(アフガニスタン・21～25年度)
「女性の生活向上のための女性センター活性化支援プロジェクト」
(ナイジェリア・19～22年度)
「ジェンダー主流化及び社会的包摂促進プロジェクト」
(ネパール・21～26年)